

令和2年度 中大規模木造普及シンポジウム 事例報告会 サステナブル建築物等先導事業（木造先導型） 事業概要

1 プロジェクト名	(仮称)千代田区岩本町三丁目計画		8 建物用途・規模	軒高: 25.165 m、高さ: 25.960 m 階 数:地上 8 階、地下 - 階 (うち補助対象部分)
2 提案者 (=建築主)	氏名	三菱地所 株式会社	9 建築物の構造	☐ 軸組工法 ☐ 枠組壁工法 ☐ CLTパネル工法 ■その他の工法(鉄骨造 一部木造)
3 建設地	東京都千代田区岩本町3丁目7-5(地番)		10 建築物の 防火性能	(建設地の地域区分) ■防火地域 ☐ 準防火地域 ☐ 22条区域 ☐ その他地域 (地域区分や建物用途・規模等により必要となる建築物の防火性能等) ■耐火建築物 ☐ 準耐火建築物(60分) ☐ 準耐火建築物(45分) ☐ その他() (今回提案する建築物の防火性能等) ■耐火建築物 ☐ 準耐火建築物(60分) ☐ 準耐火建築物(45分) ☐ その他()
4 発表者	会社・所属	株式会社 三菱地所設計	11 施工時の課題・工夫点について(※簡潔に記載ください)	・3～8階の床にCLTを使用し、階数に応じた耐火仕様を採用しローコスト化。 ・ツーバイ材ラミナで構成したCLTを日本で初めて採用。 ・CLTと鉄骨梁の接合部仕様をトップコンクリートとラグスクリューボルトのみとし簡素化。 ・石こうボードと乾式耐火被覆マキベエを合わせた新たな耐火被覆仕様を採用。 12 木造化についての施主からの評価(※簡潔に記載ください) ・木造化によるコストアップは現状不可避だが、それがリーシング上のアピールとなり、賃貸オフィスとしての商品価値向上につながることが確認できた。
	氏名	名倉 良起		
5 採択年度、 採択日	平成30年度採択			
6 竣工年度、 竣工日	令和1年度竣工、竣工日:令和2年3月31日			
7 設計者・施工者 ・技術の検証者	設計者:	株式会社久保工、株式会社三菱地所設計		
	施工者:	株式会社久保工		
	技術の検証者:	株式会社三菱地所設計		
8 建物用途・規模	■事務所 ☐ 店舗 ☐ 共同住宅 ☐ 学校 ☐ 幼稚園 ☐ 保育所 ☐ 体育館 (武道場) ☐ 集会場 ☐ 宿泊施設 ☐ 文化施設 ☐ 病院 ☐ 診療所 ☐ 特別養護老人ホーム ☐ その他の福祉施設 ☐ その他() 敷地面積: 121.11 m ² 建築面積: 90.51 m ² 延べ面積: 645.05 m ² (うち補助対象部分の面積: 334.08 m ²)			

※上記記載内容はパワーポイントで作成された発表資料内にご記載ください。

最終ページ

PARK WOOD office iwamotocho

PARK WOOD office iwamotocho

((仮称)千代田区岩本町三丁目計画)

建築主：三菱地所株式会社

設計・監理：株式会社久保工、株式会社三菱地所設計（CLT床と外装の木使用部分）

施工：株式会社久保工

所在地：東京都千代田区岩本町3丁目7-5

敷地面積：145.61㎡

延床面積：645.05㎡

用途：事務所

構造・規模：鉄骨造、木造（床CLT）・地上8階建

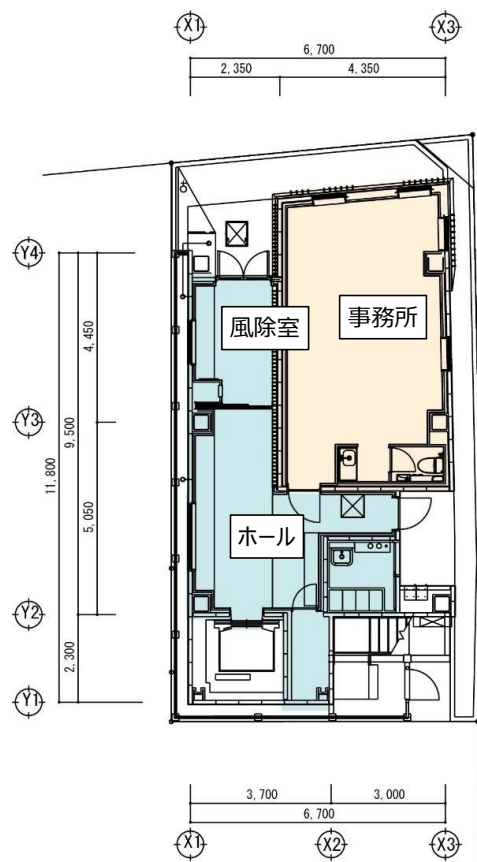
<計画スケジュール>

2019年5月29日 着工

2020年3月31日 竣工



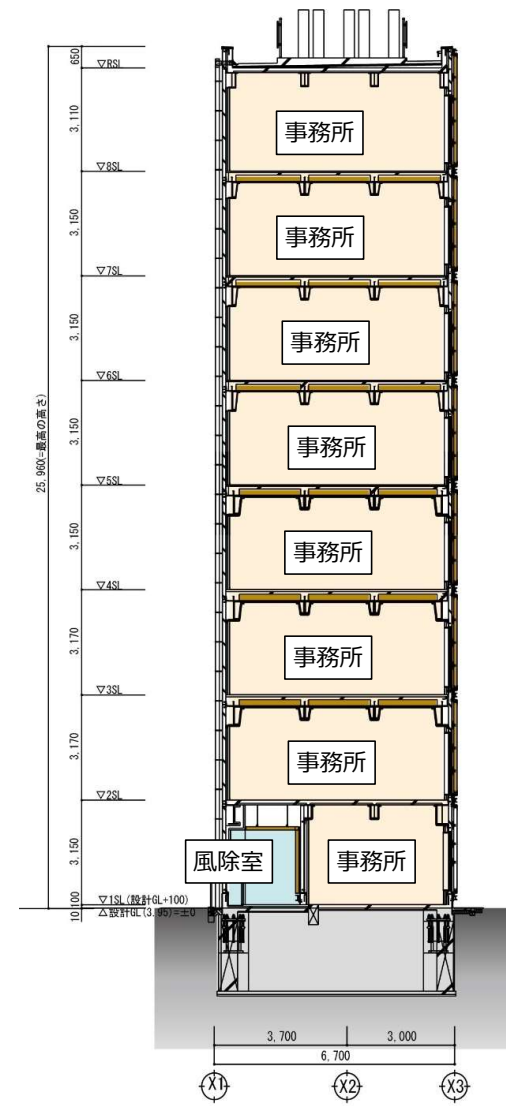
▲外観



1 階平面図



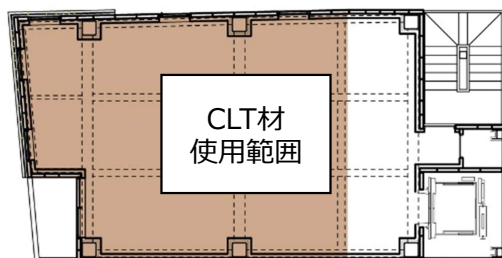
2～8 階平面図



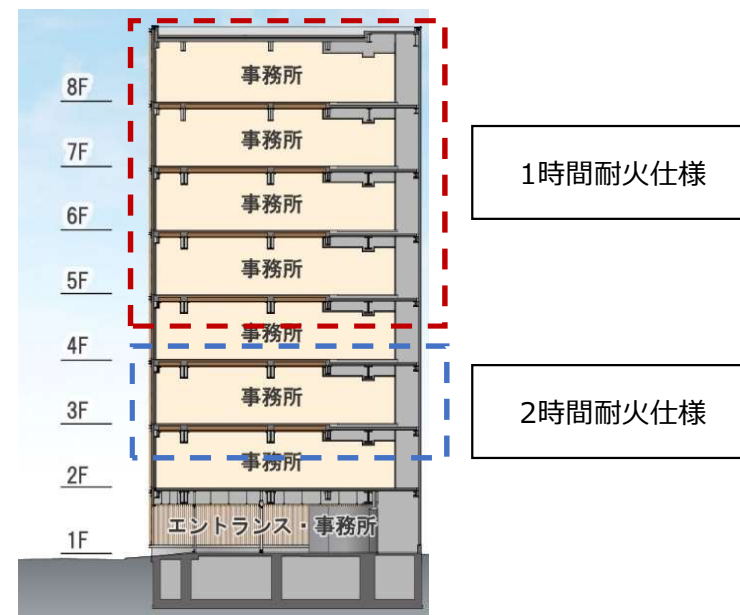
断面図

国内初、CLTを構造材として採用した高層事務所建築

- ・国内で初めてCLTを構造材として採用した8階建て事務所建築。
高層非住宅建物におけるCLT利用のモデルケースとなることが期待される。
- ・上層から4層は1時間耐火仕様、5層以下を2時間耐火仕様として新たに耐火認定を取得。
階数に応じて耐火仕様を使い分けることで、オーバースペックによる高コスト化を避けることが可能。



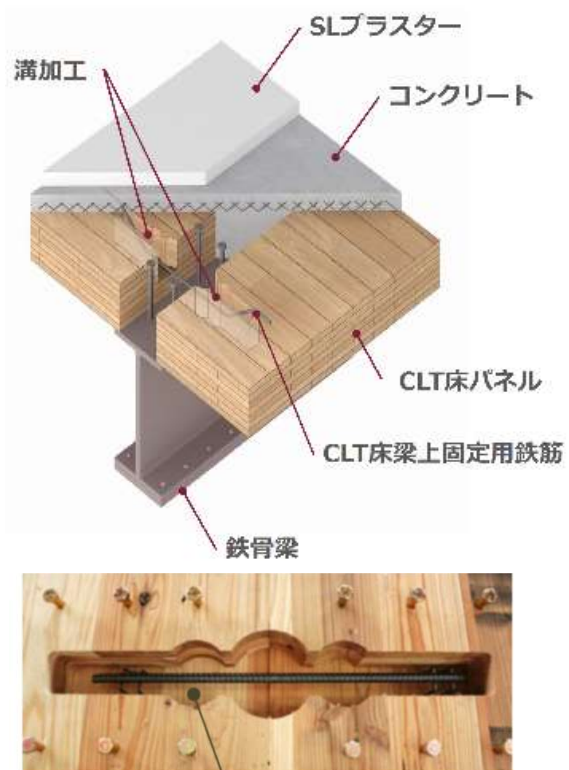
CLT使用面積：1フロアあたり55.68㎡
(建物全体：334.08㎡)



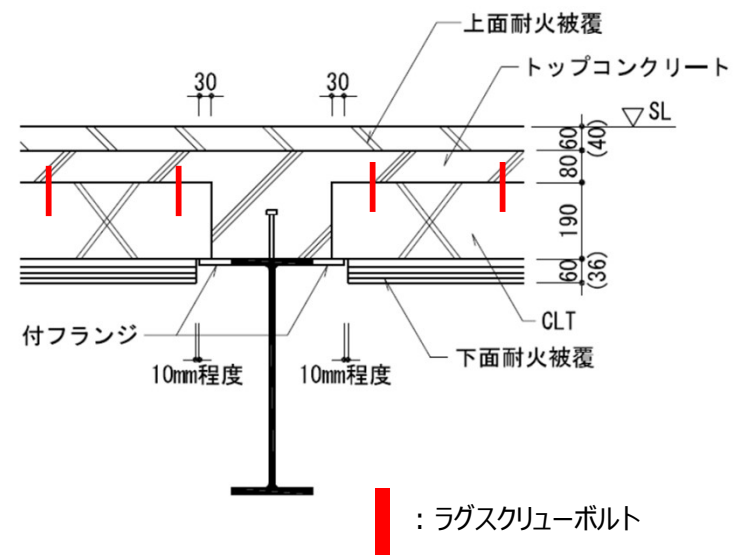
D-2	耐火2時間	D-3	耐火1時間
石膏系セルフレパリング 材t=60 コンクリートスラブ t=80 CLTパネル 下張：強化石膏ボードt=15x3枚 上張：けい酸カルシウム板t=15		石膏系セルフレパリング 材t=40 コンクリートスラブ t=80 CLTパネル 下張：強化石膏ボードt=21 上張：強化石膏ボードt=15	

先行プロジェクトの事例を活かした設計・新仕様の開発

- ・先行プロジェクト「**PARK WOOD 高森**」の経験を活かし、加工を更に減らした鉄骨梁とCLTの接合方法を確立。
→加工・接合金物費及び施工費・作業時間を低減。



▲CLT床断面イメージ



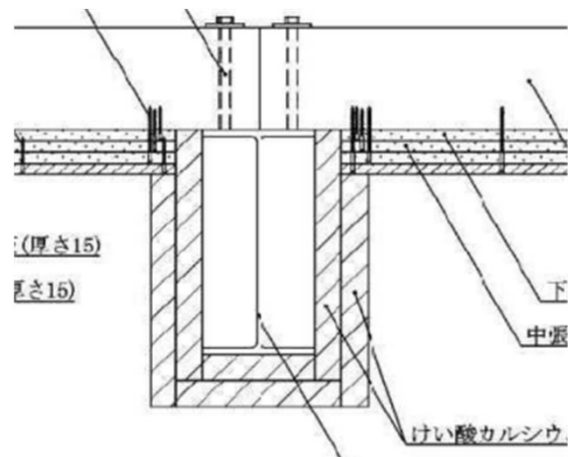
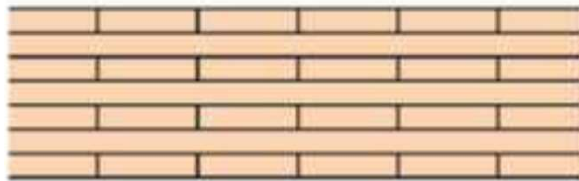
CLT板製作：山佐木材 下住工場



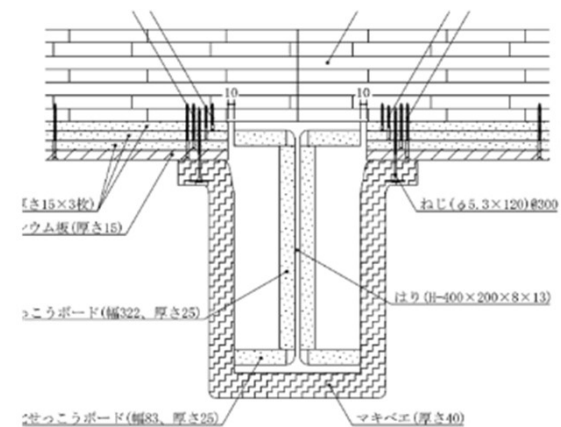
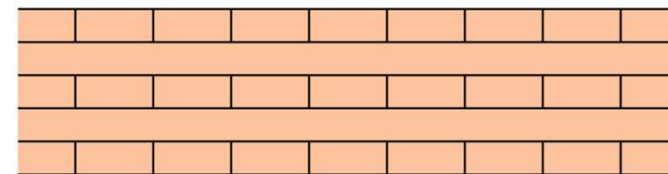
先行プロジェクトの事例を活かした設計・新仕様の開発

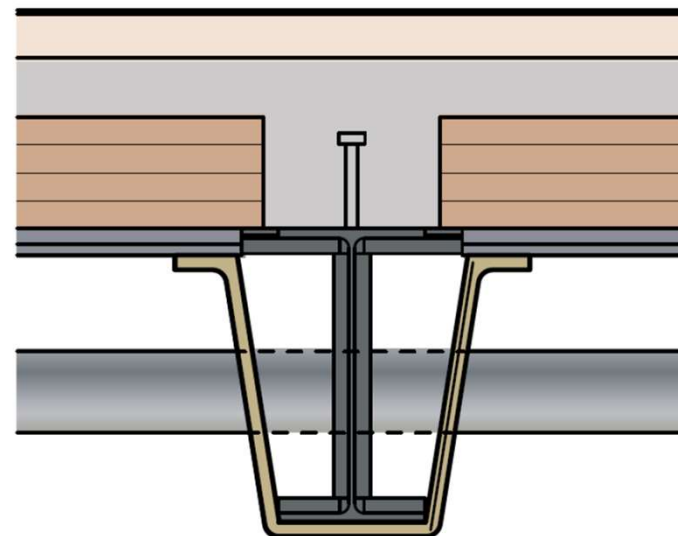
- ・ツーバイ材ラミナで構成したCLTを日本で初めて採用。
→ 枠組壁工法（ツーバイフォー工法）と共通の規格とし、将来の製品価格低減を図る。
- ・巻付耐火被覆材（マキベエ）を用いる新たな鉄骨梁耐火仕様を開発。
→ 通常の鉄骨造と同様の梁貫通や外装受けディテールを実現。

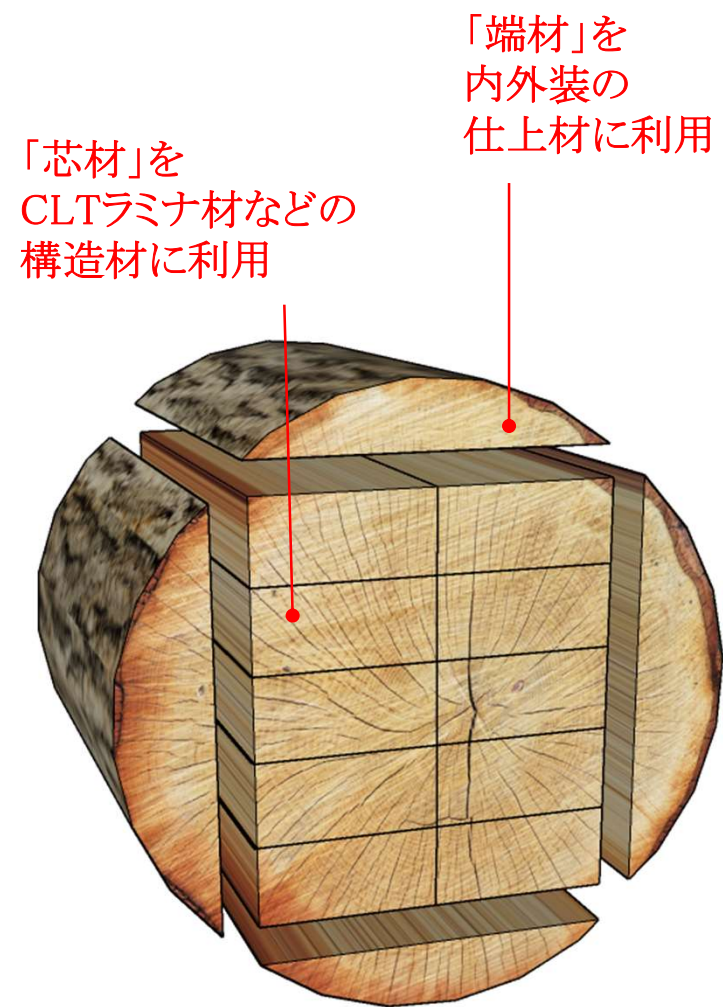
ラミナ：t=30mm
7層7プライ：合計厚 210mm



ラミナ：t=38mm
5層5プライ：合計厚 190mm







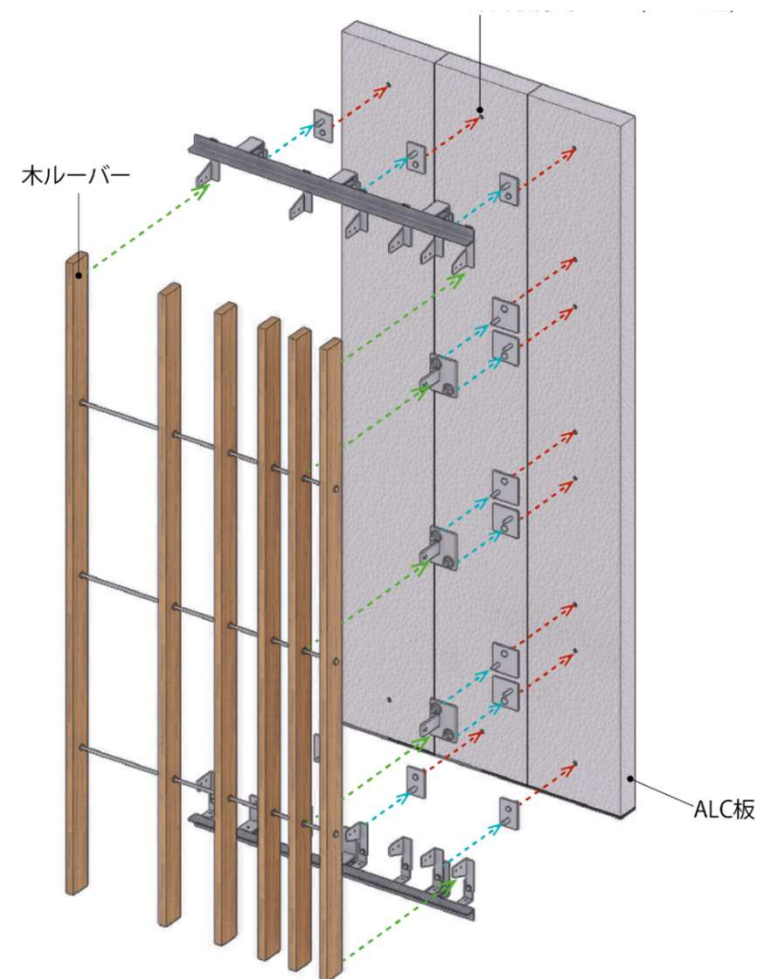
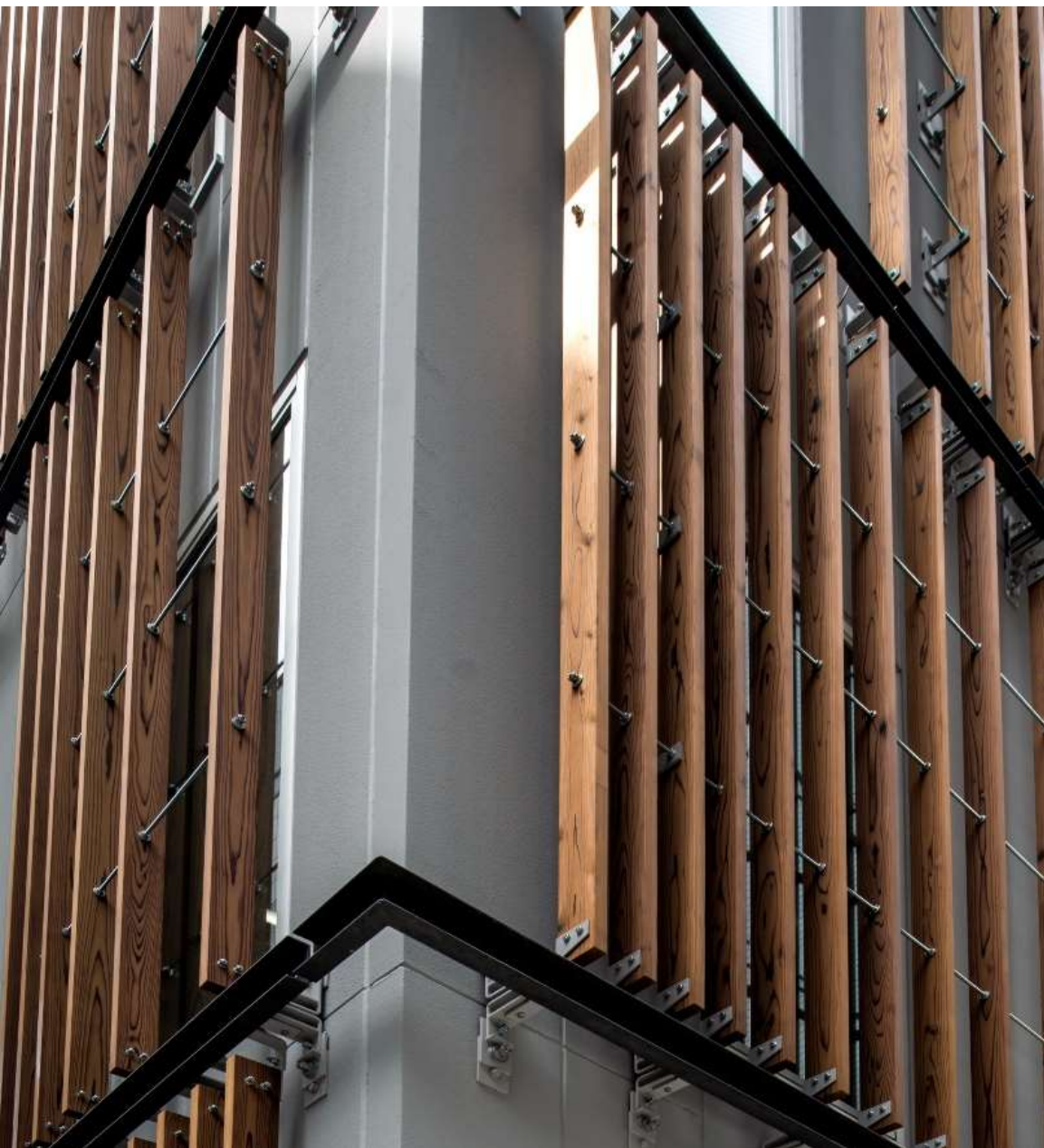
スギ木取りイメージ

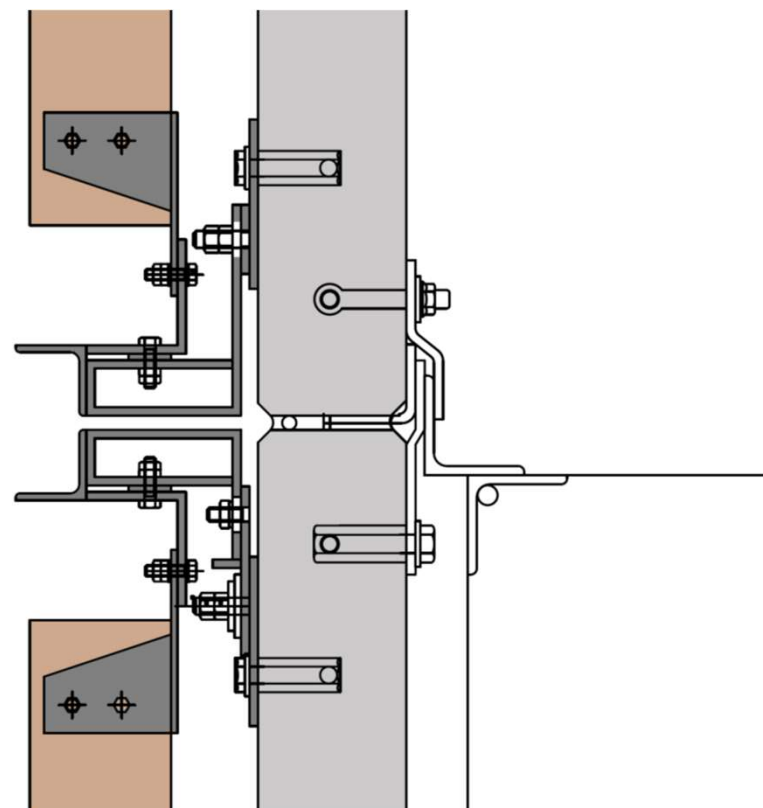
木の温もりを感じられる商品計画

- ・外装に木ルーバーを使用し木材使用をアピール。（日射遮蔽及び密集市街地での視線制御効果）



▲外装木材使用イメージ

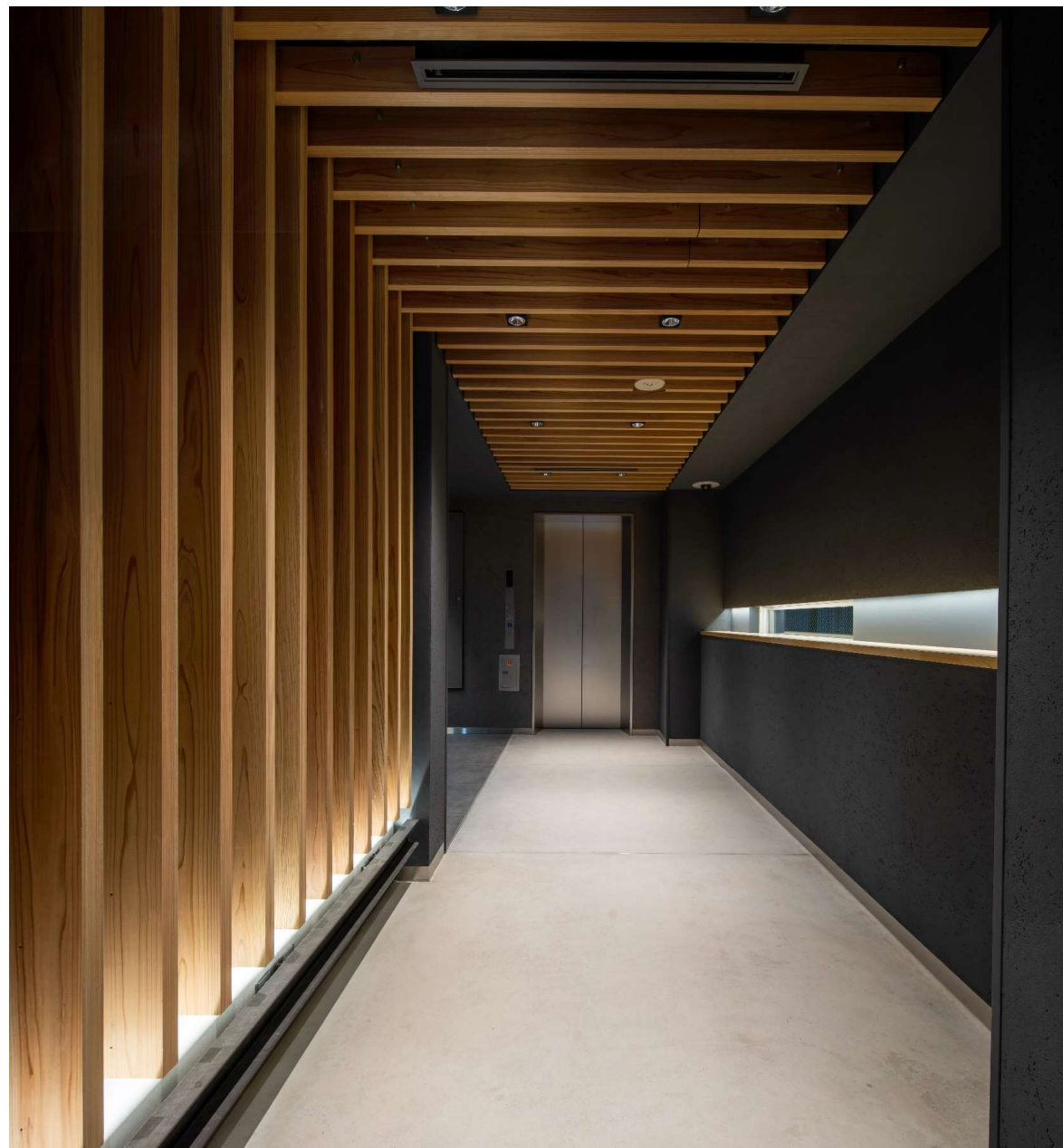






木の温もりを感じられる商品計画

- ・内装にも木材を使用。木材を使用したエントランス空間



木の温もりを感じられる商品計画

- ・内装にも木材を使用。木材を使用したエントランス空間



木の温もりを感じられる商品計画

- ・木材の温もりを感じられるワークスペースを創出。



CLT製作時の端材を活用

▲基準階

CLT板 搬入



CLT板 吊り込み



位置決めPL(工場取り付け)を配置
現場で位置合わせをせず、
落とし込むだけのシンプルな施工が可能な納まりとした。

CLT板 耐火被覆



